


各課所で行われている、県民サービス向上や業務改善に向けた意欲的な取組をレポートします。

幹部職員とのランチミーティング

総務部

ここがポイント 

- 部内の「若手職員」、「民間企業派遣経験職員」、「女性職員」等と部長や次長がランチをしながら意見交換

総務部では、部長・次長と部内職員とのランチミーティングを定期的を開催しています。

平成26年度は、「新規採用職員」、「2年目職員」、「民間企業派遣経験職員」及び「女性職員」というカテゴリで、計7回開催しました。

平成27年度は、まず6月に、「3年目職員」により開催しました。

場所は部長室または次長室で、基本的には生協のお弁当を注文します。

部長・次長を前にするため、初めは少し緊張感が漂いますが、ランチをしながらということもあり、次第に和やかな雰囲気になります。


若手職員からは、入庁前後の県に対する印象の変化や日頃の仕事の感想など、民間企業派遣経験者からは、県でも導入できそうな民間の先進取組など、女性職員からは、ワークライフバランスの話などが飛び交い、昼休みはあっという間に過ぎてしまいます。



仕事以外の会話も弾みます

新規採用職員を対象とした県施設調査研修

総務部

ここがポイント 

- 部内（出先機関含む）の新規採用職員を対象に、バスで県施設を訪問調査
- 各施設における課題を解決するアイデアを提案

総務部では、平成26年度に初めて、部内（出先機関を含む）の新規採用職員を対象に、県施設を訪問調査する研修を実施しました。

県職員たるもの、まずは自分の目で県施設を見てみるべし、ということで、今回は26名が参加し、バスで「弘道館」、「三の丸庁舎」、「茨城県フラワーパーク」、「TX沿線地域」、「取手競輪場」を訪問し、各施設の担当職員から施設を取り巻く状況や課題についての説明を受けました。



弘道館

プライベートを含めても初めて訪れたという職員も多かったようですが、今回はあくまで業務の一環。

「県職員」の立場で、どうすれば課題を克服できるか、今以上に県民に喜んでいただける施設になるか、真剣に見聞きし、考え、まとめた調査レポートは大変素晴らしいものになりました。

参加者からは、「視野を広げることができ大変有意義な研修だった」、「自分で他の県施設も行ってみたい」などの感想をいただきました。



茨城県フラワーパーク

行革分権室
から一言

今回は県庁改革の一環としての総務部の取組をご紹介しました。今後も、若手職員等が、担当業務にとどまらず、様々な交流や見聞を深める機会を設けていければと考えています。